

迎春



社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

会長 横井 篤

本年も社会福祉事業の発展に、
一層の努力をいたす所存で

ありますので、
ご支援とご協力を賜りますよう

お願い申しあげます。

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

会長 横井 篤

役員一同

令和四年の年頭にあたりまして、謹んでご挨拶申し上げます。
平素、会員の皆様におかれましては、本会事業に格別の御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、高齢化や人口減少の進行に加え、長引くコロナ禍における社会経済活動の自粛により私たちの生活は一変しました。特に非正規労働者や女性、若者など年収の低い世帯が感染拡大の影響を大きく受け、格差の広がりが懸念されております。また、経済的困窮だけではなく、病気や障がい、住まいの確保や社会的孤立など様々な問題が深刻化するおそれがあり、一人一人に寄り添った支援が必要とされております。

こうしたなか、令和二年三月より実施している生活福祉資金特例貸付は、累計で三万件、総額九十三億円を超え、過去最大の貸付となっております。未だに先の見通しが立たない状況が続いておりますが、今後は貸付の償還が始まることから、本会としましては、借受世帯の生活の立て直しに向けた支援とともに適正な債権管理に努めてまいります。また、コロナ禍にあっても社会の変化に対応しながら、様々な関係機関・団体の皆様との連携を一層強化し、地域福祉の推進に取り組んでいく所存であります。皆様の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様方にとってよい年であり、地域福祉が進展することを祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



今を担う

岐阜県民生委員児童委員協議会
会長 澤 井 基 光



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を睨みながら、自らの感染防止、周囲の方々へ配慮し民生委員・児童委員活動を行った一年ではなかったかと思えます。

コロナ禍の地域社会は、貧困・孤立・自殺・虐待を深刻化させ、今までの地域のつながりをより一層希薄にしました。このような状況においても、「奉仕性・隣人愛・地域住民との信頼関係・関係機関へのつなぎ」この基本姿勢を守り、民生委員・児童委員であることの誇りと使命感をもって向き合い、地域の実情の把握に努めていくことが大切になってきます。

昨年、岐阜県の民生委員制度創設100周年を迎えました。大正10年8月20日「社会状態及生活状

態ヲ調査シ其ノ改善ヲ図ル」ことを目的に「岐阜県奉仕委員」の名称で始まり、100年の歴史を重ね、今私たちにバトンが渡されています。

感染拡大防止を徹底し、各種研修会や、岐阜県民生委員制度創設100周年記念大会（県大会）などを実施したいと思っておりますので、委員皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、岐阜県民生委員児童委員協議会では、委員皆様の活動環境の整備や自己研鑽の場を提供できるよう努めて参ります。皆様のご健康とより一層のご活躍を心からお祈り申し上げます。

年頭のご挨拶

岐阜県社会福祉法人経営者協議会

会長 井 上 悟



新年明けましておめでとうございます。

さて現在、社会福祉を取り巻く環境は大きな転換期を迎えてい

ます。社会福祉法人は主たる福祉の担い手であると同時に、責務化された「地域公益活動」推進をはじめ、「ガバナンス強化」や「透明性の向上」、また、「財務規律の強化」や、「行政関与のあり方」等が制度改革の重点事項に挙げられており、我々社会福祉法人経営者にはサービスマネジメントや人事管理、財務管理といった様々な経営管理能力が求められています。

それと同時に、多様な主体の参入による事業者間競争の激化という流れのなかで、社会福祉法人が税制等の優遇措置をこれからも維持していけるか大きな課題となっていることから、あらためて社会福祉法人は、その存在意義を考えながら研鑽、努力を重ねるべきだと考えています。

住民により良質な福祉サービスを提供していけるようこれからも最大限の努力を重ね、地域公益活動推進に積極的に取り組み、「地域共生社会の実現」に向け、住民から今まで以上に信頼される社会福祉法人をめざし、真摯な姿勢で活動を続けてまいりますので、本年も皆さまからの一層のご理解、ご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

更なる飛躍の年に

岐阜県老人福祉施設協議会

会長 若 山 宏



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策に翻弄された一年となりましたが、長引くコロナ禍では様々な制約のなか、会員の皆様には老人福祉の拠点として、その施設運営に大変苦慮されてきたものと思えます。

このように社会全体が閉塞し、人々の生活の疲弊が続く中、本会としては後期高齢者の大幅増や介護担い手の減少など、高齢者福祉を取り巻く喫緊の課題に対して、地域や会員の皆様からの信頼を一層高め、安定運営が可能となる組織体制の強化が必要と考えており、岐阜県や岐阜県社会福祉協議会などのご協力をいただきながら、本年4月の一般社団法人化を目指し、尽力しているところでございます。

新たな組織体制により、岐阜県の老人福祉施策の一端を更に担っていきたくと考えておりますので、本年も皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

年頭にあたって

岐阜県保育研究協議会

会長 福 富 泰 岳



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

擧げ申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で第58回岐阜県保育研究大会をはじめ、本会主催の大会等オンラインでの開催を余儀なくされました。

各会員施設におかれましても、職員の皆様が感染症対策の徹底を図りながら、保育を継続的に実施していただくなど、日々の保育にご苦労されたことと存じます。

当協議会では、従来から保育士・保育教諭の資質向上のため、県受託研修等を実施してまいりましたが、一昨年と同様に、コロナ禍の中、集合研修とオンライン研修を併用し、計画どおりに研修を実施することができました。令和4年度は、さらなる充実を目指して取り組みたいと考えているところであります。

今後におきましても、地域住民をはじめ、関係機関及び行政機関との連携を強化して、保育所・認定こども園の機能及び保育士・保育教諭の資質の向上に努めてまいりますので、本年も、皆様方のご協力、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

子どもの幸せのために

岐阜県児童福祉協議会

会長 横 川 聖



あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症

が世界的に大流行し、今まで当たり前前にできていたことができない状況が続いています。一日も早い終息を祈るばかりです。

児童福祉の分野では、子どもの虐待相談件数が20万件を超えました。その中で社会的養護が対応している子どもは3%に過ぎません。その他は家庭生活を継続しています。そうした子ども達の動向を注視する必要があります。施設を利用する子ども達の健全育成に加えて、家庭で生活している子どもの安心・安全生活をサポートする取り組みが今後ますます求められます。当協議会は、どのような時代であつても常に「子どもの幸せ」を中心に据え、各専門機関が連携をしながら、子どもが安心・安全に生活ができる取り組みをしていきたいと思っております。

皆様のご理解とご協力を賜り、本年もよろしく申し上げます。

年頭にあたり

岐阜県知的障害者支援協会

会長 平 下 博 文



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

年頭にあたり

岐阜県身体障害者福祉施設協議会

会長 豊 田 雅 孝



新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり、謹んでご挨拶申し上げます。

思い返せば、一昨年前春先からの

コロナ禍と呼ばれる状態から早2年近くが経過しました。

この間、社会は爆発的な感染拡大からその対応や予防策、インターネットを駆使した在宅勤務などこれまでになかった多くの経験や能力を獲得したと言える反面、人と人が直接接点を持つ多くの参加機会を失ったとも言えます。

一方、我々は利用者様の命を守る活動に終始せざるを得ず、利用者様から見れば実に参加機会に乏しい、活動範囲の狭い期間となったことは否めません。アフターコロナの社会を見据え、我々は障がいを持つ利用者様の「参加」のあり方を模索していかねければなりません。従前の生活を取り戻すことと平行して、コロナ禍を通じて変容した社会にどのよう

に心豊かな生活を送られるよう支援できるのか。こうした新たな課題に向かって会員施設一丸となって邁進する所存です。どうぞ本年もよろしく願い申し上げます。